

各会議等の実施状況報告について	提出日	令和3年3月17日(水)
	担当課	社会教育課
<p>会議名称 湖西市学校支援地域本部運営委員会</p> <p>開催日時 令和3年2月26日(金) 10:30～11:15</p> <p>開催場所 市民活動センター 大会議室</p> <p>出席者 (委員) 8名</p> <p>(教委) 4名 【計12名】 ※傍聴者なし</p>		
<p>1 開 会</p> <p>2 委嘱状の伝達</p> <p>3 教育長あいさつ</p> <p>4 委員・事務局自己紹介</p> <p>5 委員長及び副委員長の選出</p> <p>6 委員長あいさつ</p> <p>7 議事事項</p> <p>(1) 令和2年度 湖西市「学校支援地域本部」事業報告について(事務局、各実施校説明)</p> <p>(2) 令和3年度 湖西市「学校支援地域本部」事業計画(案)について(事務局)</p> <p>(委員) 実施校が現在の3校から9校に増えるのは、何か理由があるか。</p> <p>(事務局) 令和3年度、市内全小中学校においてコミュニティスクールの試行、令和4年度に本格導入という計画と連動し、支援本部の地域コーディネーターがコミュニティスクールの運営協議会委員に加わる体制を目指しているため。</p> <p>(3) コミュニティスクール導入について(学校教育課より説明)</p> <p>(委員) 驚小の学校評議員をやったが、それに代わってコミュニティスクールになるということか。</p> <p>(委員) 学校評議員会が、学校運営協議会に移行していく。</p> <p>(委員) より発展した役割となるということか。今までは、校長が作成した学校運営の基本方針についての説明はあったが、学校運営について校長に意見を述べたり、教職員の任用についての意見を述べることはなかった。</p> <p>(委員) 教育委員会や校長に意見を述べると言っても、個人の意見ではなく運営協議会としての意見としてあげていただく。</p> <p>(委員) 来年度、学校支援本部は増えるが、コミュニティスクールディレクターも同じように増えるということか。</p> <p>(委員) 支援本部のコーディネーターは増えるが、コミュニティスクールディレクターは、まだ来年度は難しいという学校もある。</p> <p>(4) 意見交換</p> <p>(委員) 年齢や立場も様々な方が学校に来るなか、コロナ対策をきちんとしてやっていきたい。コミュニティスクールについては、会議のための資料作成ではなく、学校運営のために注力したい。</p> <p>(委員) 地域に根差した活動の中から、将来の担い手を育てるための取組みをしたい。</p> <p>(委員) コミュニティスクールについて、学校評議員にしても運営協議会にしても、まずは学校をよく見てもらうことが必要。来年度の試行を、慎重に進めていく。</p> <p>8 閉 会</p>		